



# 新毎日新聞

8月8日(日)  
2010年(平成22年)



平和記念像前は世界の子どもの笑顔がプリントされた傘で彩られた。長崎市の平和公園で7日午後2時5分

## 核なき世界は笑顔あふれ

長崎市は9日、65回で、5月に米国で開かれた核拡散防止条約の同日11時2分に参加者を迎えた核拡散防止条約(NPT)再検討会議。長崎市の平和公園では平和祈念式典が核軍縮の新条約取り開かれ、田上富久市長が原爆犠牲者への追悼と核兵器廃絶の決意を表明する。核保有国の英仏、核兵器保有が確実とされるイスラエルの初参加も決まっている。米国は、出席するかどうかを長崎市に回答していない。長崎の被爆者の平均年齢は76歳を超え、被爆の記憶の継承が一層の急務となっている。

(26面に関連記事)

式典には、過去最多の32カ国の政府関係者を含む約6000人が参加予定。菅直人首相や各政党代表のほか、天野之弥・国際原子力機関(IAEA)事務局長も参加する。また、今年も外国人被爆者代表として在韓被爆者2人も参列する。

田上市長は平和宣言

### あす長崎原爆の日

被爆者でつくる「被爆者歌う会『ひまわり』」が合唱を披露するた像はさまざま笑顔に囲まれた。

【下原知広、写真も】

分早い午前10時35分